

記者発表（配付）資料

令和5年4月4日

所属部課	局長	課長	担当	連絡先
萩市上下水道局 下水道建設課	中屋 英典	西村 純司	阿武 仁志	0838-25-3148

件名	萩市下水道事業経営戦略見直し（素案）に関するパブリックコメントの実施について
----	--

萩市では、下水道事業を将来にわたり安定的に運営していくための中長期的な経営の基本計画として平成29年3月に「萩市下水道事業経営戦略」を策定しました。経営戦略の策定後6年が経過し、この間、平成30年度の公営企業会計への移行や新たに策定したストックマネジメント計画及び下水道整備計画の見直しの反映など、下水道事業を取り巻く環境が変化していることを踏まえ、経営戦略の見直しを行い、素案を作成しました。

このたび、多くの市民の皆様の声を反映させ、経営戦略をより充実したものにするため、下記のとおり見直しの素案に対する意見を募集しますので、お知らせします。

記

1. 意見の募集期間

令和5年4月3日（月）～5月2日（火）

2. 公表資料

- ・萩市下水道事業経営戦略見直し（素案）【概要版】
- ・萩市下水道事業経営戦略見直し（素案）

※詳細は、萩市ホームページ（<https://www.city.hagi.lg.jp/soshiki/61/h52704.html>）に掲載します。

3. 公表資料の閲覧場所

- ・萩市ホームページ
- ・萩市役所市政情報コーナー（本庁1階ロビー）
- ・萩市上下水道局下水道建設課
- ・各総合事務所産業振興部門



4. 意見の提出方法

所定の意見等提出用紙（ホームページからもダウンロード可）により提出

提出方法	提出先
郵送	〒758-8555 萩市大字江向 510 番地 萩市上下水道局下水道建設課
F A X	0838-25-4662
電子メール	gesui@city.hagi.lg.jp
持参	萩市上下水道局下水道建設課、各総合事務所産業振興部門

※ご意見等に関する個別の回答や、電話によるご意見等の受付はできません。

記者発表（配付）資料

令和5年4月5日

所属部課	部長	課長	担当	連絡先
萩市商工観光部 文化財保護課	村田 卓二	中村 達也	中村 浩二、小田 紀佳	0838-25-3238

件名	～萩城下の港町・浜崎の新たなにぎわい創出を目指して～ 浜崎伝建地区町家モデル施設運営事業者の募集を開始しました
----	--

城下町・萩の港町、伝統的な商家の建ち並ぶ浜崎伝統的建造物群保存地区にある明治初期に建てられた町家を萩市が2か年をかけ保存整備を行い、この度、美しくリニューアルしました。

萩市では、この町家を事業者の皆様にご利用いただきたく、施設の長期運営権を設定し、地域住民と観光客との交流できる事業者の募集を開始しました。



浜崎伝建地区町家モデル施設

萩市は、コンセッション方式を採用し、PFI法に基づく本事業の公共施設等運営権者として事業者を選定します。

■事業契約期間

事業契約期間は令和25年（2023年）3月末日までの約20年間を予定します。

■運営権対価

契約期間中に運営事業者が支払う運営権の対価は、令和6年（2024年）3月末日までの間は、無償とし、それ以降の運営権対価は、14,176,000円を下限額として事業者の提案を募集します。

■選定方法

事業者の選定は、公募型プロポーザルによって評価を行い、選定した事業者と契約を交わします。

■活用のコンセプト

（1）町並み景観の保全と活用の実践

浜崎地区を代表する伝統的建造物を保存・活用するという意義に立ち、まち全体の景観に配慮した活用方策を実践できること。

（2）まちの賑わいづくりと魅力の発信

本事業を通じて、浜崎地区において人々の集いの場の創造と賑わいを創出させ、まちの魅力発信に貢献すること。

（3）浜崎地区の新たな観光資源

浜崎地区の新たな集客ポイント（交流施設等）として活用すること。

（4）波及効果の創造



施設内部（1階）



施設内部（1階和室）

本事業を通じて、地域のコミュニティ形成やまちづくりの核となる人材育成等、波及効果を創造すること。

上記の4点で、民間事業者の自由で質の高いサービスの提供を期待しています。

■今後のスケジュール

日	内容	備考
4月10日(月)	事業者の参加表明締切	
4月21日(金)	企画提案書の提出締切	
4月26日(水) [予定]	プレゼンテーション・ヒアリング審査 (選定委員会)	
5月上旬	認定委員会	
6月定例会	運営権の設定に関する市議会の議決	
7月中旬頃	実施契約の締結 事業者による内装準備	
令和6年中[予定]	営業の開始	

■浜崎伝建地区町家モデル施設について

1. 建物（浜崎伝建地区町家モデル施設）

構造 木造2階建て

建築面積 164.9 m²

床面積 197.5 m² (1階: 139.3 m²、2階: 58.2 m²)

築年月 明治期創建、令和5年3月改修工事竣工

伝統的建造物 浜崎伝建地区の伝統的建造物として特定

2. 土地（萩市大字浜崎町16番地・17番地）

敷地面積 357 m²

3. 施設整備の経緯

明治時代に建てられたこの建物は、これまで、呉服屋や生花店など商業施設として活用された後、建物の老朽化に伴い、空き家の状態が続いた。浜崎伝建地区にある大型町家で、地域の貴重な文化遺産の一つとして保存を図るべく、令和2年に萩市が寄付を受けた。その後、「まちなみの保存」、「空き家の活用」、「地域の賑わいづくり」といった地域の課題解決モデルとして、地元住民とともに今後の活用方針を検討し、民間事業者による自由度の高い施設として活用するため、長期の運営権を民間事業者を設定するコンセッション方式による施設運営を展開することとなった。



修復整備前の施設（令和2年）

[位置図]



[施設 1階平面図]

